

拡張テレワークとそのインパクト

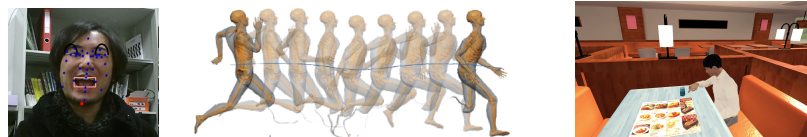
渡辺 健太郎

サービス価値拡張研究チーム

参考資料: 拡張テレワークとその展望

<https://unit.aist.go.jp/harc/telework.html>

- 拡張テレワークとは
 - With/Post-Coronaにおいて、「人（従業員や消費者等）が集まらなくても事業継続が可能」な新しい働き方のコンセプト
 - 特に対人サービス業
 - 人同士の身体的インタラクションを「人間拡張技術」を用い、テレワーク環境で実現
 - マルチモーダル（映像や音声他、複数の情報源・手法を活用）
 - バーチャル・リアリティ、VR
 - アバター（仮想またはロボットの分身）



- 拡張テレワークのもたらすインパクト
 - 生活・事業・社会活動の持続性の向上
 - テレワークの適用範囲の拡張
 - ワーク・ライフバランスの増進
 - 事業継続性の向上
 - リソース・インフラの有効活用
 - 従業員スキル
 - オフィス・店舗
 - 都市機能・インフラ
 - 新産業・イノベーションの創出
 - 新しい体験を生み出すサービスとその基盤技術の産業化
- 拡張テレワークの実現に向けて
 - 既存事業・業務の分析・再設計
 - 多様な関係者の参加
 - 多様性への配慮
 - 長期的な影響のアセスメント

